

環 政 第 9 3 号
令和 7 年 4 月 28 日

北陸電力株式会社
代表取締役 松田 光司 様

富山県知事 新 田 八 朗



富山新港火力発電所LNG2号機建設計画に係る計画段階環境配慮書
に対する環境保全の見地からの意見について

令和 7 年 2 月 27 日付けで送付のあった標記計画段階環境配慮書について、環境影響評価法第 3 条の 7 に基づく主務省令（※）第 14 条第 3 項の規定により、別紙のとおり意見を述べます。

※発電所の設置又は変更の工事の事業に係る計画段階配慮事項の選定並びに当該計画段階配慮事項に係る調査、予測及び評価の手法に関する指針、環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針並びに環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令（平成 10 年 6 月 12 日通商産業省令第 54 号）

(別紙)

1 全般的事項

- (1) 今後の事業計画の検討に当たっては、予測結果を踏まえ、生活環境の保全に万全を期すとともに、環境の保全に関する最善の対策や技術の導入を図るなど、より一層の環境影響の低減に努めること。
- (2) 環境影響評価に係るそれぞれの手続段階において、できる限り詳細に工事計画を検討し、工事の実施に係る期間及び工程の計画を踏まえ、適切に調査、予測及び評価を行うよう努めること。
- (3) 環境影響評価手続きについて、住民などが理解しやすい内容となるよう努めるとともに、住民などからの意見や要望に対して誠意を持って対応すること。
- (4) 環境影響評価の手続きにおいて公開する図書については、住民などが閲覧しやすいよう、縦覧場所や縦覧期間に配慮するとともに、インターネットを効果的に活用するなど、図書へのアクセスのしやすさが確保されるよう積極的な情報提供に努めること。
- (5) LNG 1号機の稼働に伴い、2017年度に廃止予定としていた石炭 1号機については、2028年度を目途として廃止を確実に進めるとともに、石炭 1号機廃止までの間、電力の安定供給を確保しつつ環境負荷の低減を図っていく観点から、石炭 1号機及び石炭 2号機の稼働抑制を計画的に実施し、温室効果ガスの削減に努めること。
- (6) LNG 2号機の稼働に伴う石炭 2号機の廃止及び休止中の 1号機（石油）の廃止など、火力電源の脱炭素化を進めるとともに、再生可能エネルギーの導入拡大を図るなど、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けた取組みの確実な実施に努めること。

2 個別的事項

(1) 大気質

ア 煙突の高さや排出ガス量、大気汚染物質の濃度、気象条件などを十分に考慮し、事業実施想定区域周辺の住居や学校、病院などの立地状況に配慮するとともに、山岳域への影響の可能性についても検討した上で、適切に調査、予測及び評価を行い、大気環境への影響が回避又は極力低減されるよう必要な環境保全措置を検討すること。

イ 光化学オキシダントや微小粒子状物質（PM_{2.5}）については、窒素酸化物などが前駆物質となる可能性があることから、複合的な環境影響などに係る最新の知見

を踏まえ、可能な範囲で環境保全措置を検討すること。

(2) 騒音

富山新港火力発電所敷地境界における騒音の最大値の把握及び騒音発生源の特定に努めるとともに、LNG 2号機の工事の実施や施設の稼働において、生活環境への影響が回避又は極力低減されるよう必要な環境保全措置を検討すること。

(3) 水環境

土木建築工事による地下水位の変化の可能性について、適切な評価を行い、地下水位への影響が回避又は極力低減されるよう必要な環境保全措置を検討すること。

(4) 動物

ア 富山県版レッドリストにおいて絶滅危惧Ⅱ類に区分されているハヤブサやトモエガモ、準絶滅危惧に区分されているヨシガモ、ホオジロガモ、ミコアイサなどの重要な種について、専門家の意見などを参考に、適切に調査、予測及び評価を行い、環境影響が回避又は極力低減されるよう必要な環境保全措置を検討すること。

イ 温排水による周辺海域の水温や水生動植物への影響について、季節毎に適切に調査、予測及び評価を行うとともに、環境影響が回避又は極力低減されるよう必要な環境保全措置を検討すること。

(5) 植物

緑化については、重要な動植物の生息・生育環境を確保するなど、地域の生態系保全を考慮して植物種の選定を行うとともに、外来種の侵入を早期に発見・除去するための先行事例や専門家の意見などを参考として、計画を検討すること。

(6) 景観

眺望地点から見る景観資源と発電所施設との相対的な見えの大きさの比較や色彩が景観に与える影響などについて、適切に調査、予測及び評価を行い、影響が回避又は極力低減されるよう必要な環境保全措置を検討すること。

また、蜃気楼が発生した際に、県東部の展望地点からの富山新港火力発電所の煙突の展望そのものが観光資源になっていることにも配慮すること。

(7) その他

アンモニア・水素の燃料としての導入については、温室効果ガス削減の観点だけでなく、当該燃料の搬入、保管、燃焼などにおける環境影響を考慮するとともに、必要な環境保全措置を検討すること。